

第58回富山県発明とくふう展 内容説明書 (令和2年度)

出品区分	1企業の部 ・ 2一般の部		受付番号	64	
ふりがな	はつもうやくのけいりょう・ちゅうしゆつ・とふようき				
作品の名称	発毛薬の計量・注出・塗布容器				
ふりがな	きたのせいさく	ふりがな	いけもと けんじ		
会社名	キタノ製作株式会社	発明者名	池本 健二		
出願状況	□未出願 ☑出願済	①	特願 2015-218270(H27.11.6)	特開 2017-88195(H29.5.25)	特許第 6496655 号(H31.3.15)
		②	特願 2019-38306(H31.3.4)	特開 2019-85177(R1.6.6)	特許第 6671734 号(R2.3.6)
		③	特願 2019-39128(H31.3.5)	特開 2019-81615(R1.5.30)	特許第 6723617 号(R2.6.26)

特徴と要点 (必ずご記入下さい)

発毛剤の1回分の使用量を計量し、頭皮に注出・塗布できる容器。

キャップを開けて塗布ヘッドを頭皮に押し当てると、計量器のバルブが計量から塗布に切り替わり、1回分の用量の薬液が計量される。

大口径の塗布ヘッドで頭皮をタッピングすると、ノズルから薬液が少しずつ注出され、計量された1回分の薬液だけを頭皮に塗布することができる。

特徴① ノズルに取り付けられた大口径塗布ヘッド。

- 塗布ヘッドは、頭皮に優しい柔軟なエラストマー素材で作られている。
- 塗布ヘッドの天面は、クッション性が高い湾曲形状になっている。
- 塗布ヘッドの天面には、頭皮に心地よい触感の突起が設けられている。

特徴② 大口径塗布ヘッドと計量容器の機能を両立させるリング状溝。

- リング状溝に引き上げフックが差し込まれることで、バルブの切り替えが可能。
- リング状溝からシール筒が押し込まれることで、液止めシールが可能。
- リング状溝によってノズルと塗布ヘッドを隔離し、ピンポイントで塗布が可能。

特徴③ 塗布ヘッドの形状を工夫して機能性をさらに追加。

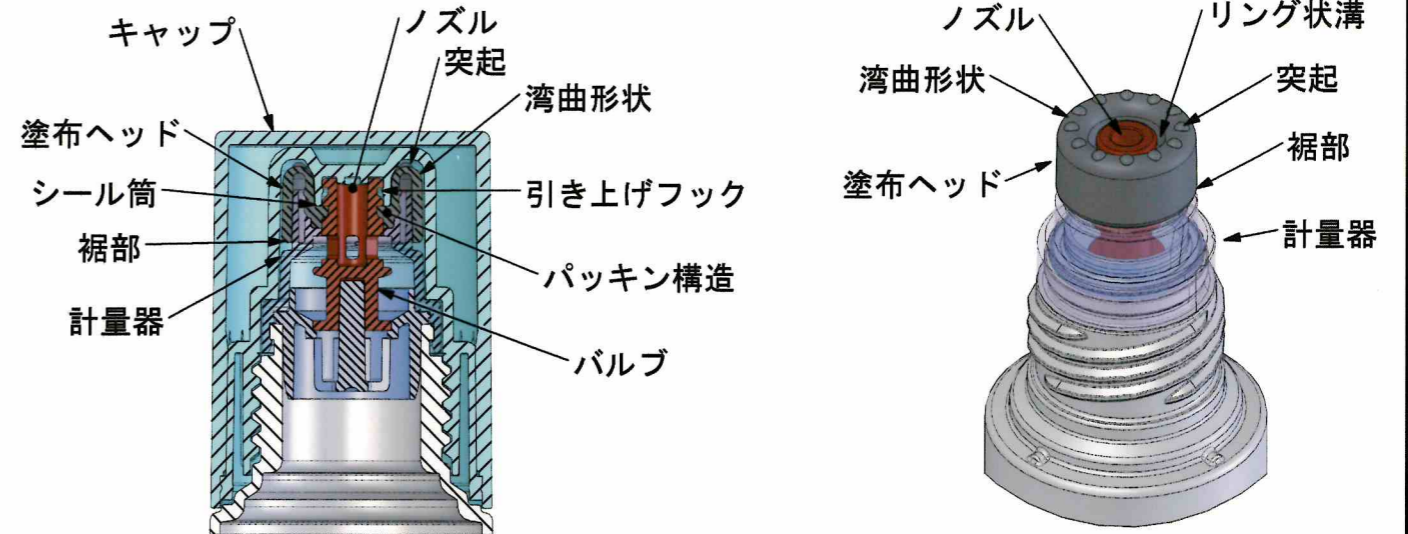
- 塗布ヘッドの底部をパッキン構造とすることで、保管時の密封性が向上。
- バルブが上がった状態でも塗布ヘッド裾部に隙間がなく、毛髪の噛み込みを防止。

この容器は、簡単な操作で1回分の使用量を正確に計量・注出・塗布できる。大口径の塗布ヘッドでありながら、計量機能、密閉性を確実に担保し、しかも薬液はノズルからピンポイントで注出可能である。

大口径の塗布ヘッドによって頭皮への負荷を和らげ、頭皮全体を心地よくマッサージしながら、まんべんなく塗り広げることができる。

※ 赤色文字の名称は、図面を参照。

図面.



容器の特徴と使用方法

- スカルP メディカルミノキ5の容器は、1回の使用量(1mL)が簡単に量れる「計量容器」です。
- 塗布ヘッドは、頭皮に優しい柔らかい素材になっています。 ※頭皮にあてて強くこすると、塗布ヘッドが傷んでしまうことがありますのでご注意ください。
- キャップを開けて塗布ヘッドを頭皮に軽くタッピングするだけで、薬液を簡単に計量塗布することができます。 ※ふりかけて使うタイプではありません。
- 誤飲防止のため、カップ(計量器)と容器本体が外れにくくなっています。

ステップ1

容器本体を立てた状態で、キャップを反時計方向にゆっくり回してはずします。この時、塗布ヘッドが上がった状態(下図参照)であることを目視確認してください。



ステップ2

容器本体を逆さにして、薬液がカップ(計量器)にたまることを横から目で確認してください。確認後、速やかにステップ3を行ってください。



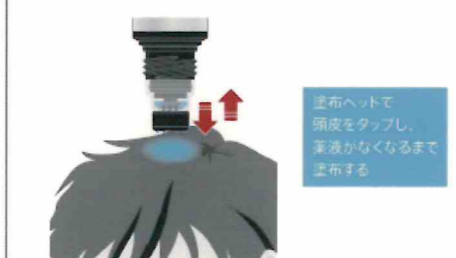
ステップ3

塗布ヘッドを頭皮に素早く、垂直にカチッとしっかり押し込んでください。



ステップ4

この状態で塗布ヘッドを頭皮の気になるところにタッピングしながら(トントントンと押し当てながら)塗布してください。カップ(計量器)に充填された1回の使用量(1mL)がなくなるまで塗布してください。



ステップ5

使用後は、容器本体を立てて、キャップを時計方向に回し、しっかりと閉めて涼しい所に保管してください。しっかりと閉めることにより、次回使用時の準備ができます。

